

## 第3章 教育・文化の向上

---

## 3-1 学校教育の充実



**担当課** 学校教育課、教育総務課、教育未来室

**主な関係課** 子育て支援課、黒保根支所市民生活課、生涯学習課

### 基本方針

桐生ならではの特色ある教育を通して、学校教育の充実を図ります。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「学校教育の充実」の市民実感度 <sup>*1</sup>	%	26.2 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上
学校評価アンケートの「特色ある教育活動」に関する設問に対し、「満足」と回答した保護者の割合	%	85.0	85%以上を 維持	85%以上を 維持	85%以上を 維持	85%以上を 維持

### 現況と課題

- ◆幼児教育においては、小学校以降における教科等の理解につながるよう、幼児と児童・生徒の交流だけでなく教師の相互参観等を含めた交流活動の一層の充実を図る必要があります。また、本市の自然環境や地域の人の関わりを、より一層重視した教育活動を充実させていく必要があります。
- ◆義務教育においては、特別支援教育の必要な児童・生徒にも配慮しながら、社会の変化に主体的に向き合い、自らの可能性を発揮し、他者と協働しながら、よりよい社会の創り手になるために児童・生徒が必要な力を育てていくことが求められています。
- ◆国が提唱する GIGA スクール構想<sup>\*2</sup>の実現に向け、児童・生徒 1 人 1 台の ICT（情報通信技術）端末を整備したため、授業における ICT の効果的な活用について研究を深め、児童・生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する必要があります。
- ◆商業高等学校教育においては、生徒が豊かな人間性を育み、自ら学び、商業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を育成することが課題となっています。また、より魅力的な学校になるよう、今後の在り方について検討する必要があります。
- ◆教育施設については、幼児・児童・生徒数の減少を踏まえ、持続可能な教育施設の適正配置を進めながら、適切な施設改修を進めるとともに、時代の変化に即した教育環境を整備する必要があります。
- ◆学校給食については、給食残渣の再資源化による肥料の活用や、地産地消<sup>\*3</sup>を推進するとともに、食に関する理解を深めるため、栄養教諭などによる食に関する指導を行い、児童・生徒が望ましい食習慣を形成できるように取り組んでいます。

※1 「学校教育の充実」の市民実感度…市民の声アンケートの「お住まいの地区では子どもが社会で生活していく上で必要な学力や体力、生活習慣などをしっかり身につけている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※2 GIGA スクール構想…義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する計画。

※3 地産地消…地域で生産されたさまざまな生産物や資源（主に農林水産物）を、その地域で消費すること。

## 施策の方向

### 1. 教育内容の充実

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
学校評価アンケートの「学校の授業の満足度」に関する設問に対し、「満足」と回答した児童・生徒の割合	%	85.0	85%以上を維持	85%以上を維持	85%以上を維持	85%以上を維持
学校評価アンケートの「将来の夢やつきたい職業」に関する設問に対し、「考えている」と回答した児童・生徒の割合	%	81.0	80%以上を維持	80%以上を維持	80%以上を維持	80%以上を維持

#### 施策

1. 桐生ならではの特色ある教育の充実 **重点施策**
2. 成長過程に応じた学習内容の充実
3. 専門教育の充実 **重点施策**
4. 特別支援教育の充実

### 2. 教育環境の充実

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
学校における教育の情報化の実態等に関する調査の「児童生徒のICT活用を指導する能力」に関する設問に対し、「能力がある」と回答した教職員の割合	%	72.0	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上

#### 施策

1. 施設・設備の充実
2. 教育の機会均等 **重点施策**
3. 学校適正配置の推進

### 3. 学校給食の充実

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
学校給食における市内産の地場産物の使用割合	%	10.2	10.7	11.2	11.7	12.2

#### 施策

1. 学校給食の充実
2. 食育指導の推進
3. 効率的な運営の推進

## 主な関連計画

- ◇第3期桐生市教育大綱（2024～2027年度）
- ◇桐生市立小中学校適正規模・適正配置基本方針（2023年3月～）
- ◇第2期桐生市子ども・子育て支援事業計画（2020～2024年度）
- ◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2027年度）

## 3-2 教育研究の推進



担当課 学校教育課

主な関係課 教育総務課

### 基本方針

教育の更なる質の向上を図るため、学力向上や生徒指導等における教育課題の解決につながる教育研究を推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「教育研究の推進」の市民実感度 <sup>*1</sup>	%	18.3 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

### 現況と課題

- ◆学力向上や特別支援教育、不登校児童生徒支援、生徒指導等における多種多様な課題に対応するためには教育研究が必要不可欠であり、より多くの教職員の資質を高めることが求められています。
- ◆教育資料室では、教育関係資料のほか郷土関係資料を多数収蔵し、広く市民に公開していますが、より有効に教育へ生かすために、教育資料の公開・活用を更に充実させることが望まれています。
- ◆適応指導教室においては、人間関係づくりを基盤にし、一人ひとりに応じた支援計画を取り入れることによって児童・生徒の不安や悩みを軽減させ、学校や関係機関と連携しながら学校復帰を目指していく必要があります。そのために、各学校の情報収集に努め、情報の共有化を図り、相談体制の充実を図っていくことが不可欠となっています。
- ◆幅広い分野での教育・学習・相談等の拠点づくりを推進するため、中核的な役割を担う教育研究所をはじめとする教育関連施設の機能を充実させる必要があります。

※1 「教育研究の推進」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は児童・生徒・保護者のための教育に関する相談・支援体制が充実している」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

## 施策の方向

### 1. 教育研究・相談機能の充実

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
各種研修講座のアンケートの「研修講座の満足度」に関する設問に対し、「満足」と回答した教職員の割合 <sup>※2</sup>	%	91.0 (2021年度)	90%以上を維持	90%以上を維持	90%以上を維持	90%以上を維持

#### 施策

1. 教育研究・研修の充実 **重点施策**
2. 教育相談の充実 **重点施策**
3. 教育資料室の充実

### 2. 適応指導の充実

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
教育相談技術初級資格 <sup>※3</sup> の取得者の割合【各年度末時点】	%	100.0 (2021年度)	95%以上を維持	95%以上を維持	95%以上を維持	95%以上を維持

#### 施策

1. 適応指導教室の充実
2. 相談体制の充実

## 主な関連計画

- ◇第3期桐生市教育大綱（2024～2027年度）
- ◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2027年度）

※2 各種研修講座のアンケートの「研修講座の満足度」に関する設問に対し、「満足」と回答した教職員の割合…教職員を対象とした研修講座の内容の充実を図るため、2020年度からアンケートを実施し、満足度を把握している。

※3 教育相談技術初級資格…一定の要件を満たした教職員に対して、申請に基づき、「生徒指導・教育相談の基礎的な理論・技術を習得している者」として県が認定する資格。

## 3-3 青少年健全育成の推進



担当課 青少年課

主な関係課 学校教育課

### 基本方針

青少年の自立と社会参加を促進するため、学校・家庭・地域の連携を一層深め、環境浄化・非行防止活動を市民総ぐるみの運動として、青少年教育活動を推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「青少年健全育成の推進」の市民実感度 <sup>※1</sup>	%	33.9 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

### 現況と課題

- ◆桐生市青少年問題協議会において、青少年に関わる諸問題に対する施策の審議や適切な実施を検討するため、関係機関・団体の連携を図るとともに、市民への青少年健全育成の啓発を更に推進する必要があります。
- ◆インターネットが発達・普及した現代社会において、SNS<sup>※2</sup>等のインターネット上でのいじめやトラブルが後を絶たず、こうした問題から青少年を保護する必要があります。
- ◆青少年の相談内容の多様化に対応できるように、さまざまな研修を通して相談員の資質の向上を行い、機能の充実を図る必要があります。
- ◆青少年野外活動センターでは、教育的機能を有する公の施設として、野外活動及びキャンプ活動を通じて、青少年等の心身の健全な育成を図るため、更に充実した施設運営を行っていく必要があります。

※1 「青少年健全育成の推進」の市民実感度…市民の声アンケートの「お住まいの地区では子どもが健全に育っている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※2 SNS…Social Networking Service（ソーシャル ネットワーキング サービス）の略で、人と人とのつながりを促進・支援するコミュニティ型のWebサイトやネットサービス。「フェイスブック」や「インスタグラム」などがある。

## 施策の方向

### 1. 青少年教育の充実

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
ネット見守り活動委員会の会員数 【各年度末時点】	人	336	350	360	370	380
街頭補導 <sup>※3</sup> の参加者数【年間】	人	2,359	2,550	2,600	2,650	2,700

#### 施策

1. 青少年保護活動の充実 重点施策
2. 市民総ぐるみ「青少年健全育成運動」の推進 重点施策
3. 相談機能の充実

### 2. 青少年教育施設の運営

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
青少年野外活動センターの 利用者数【年間】	人	5,257	6,000	6,500	7,000	7,500

#### 施策

1. 青少年教育施設の運営

## 主な関連計画

- ◇第3期桐生市教育大綱（2024～2027年度）
- ◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2027年度）



青少年野外活動センター主催事業（親子カヌー教室）の様子

※3 街頭補導…非行が行われやすい場所において、非行少年、不良行為少年、被害少年、要保護少年を発見し、必要に応じその場の適切な注意助言を与えるなどの補導措置をとる活動。

## 3-4 生涯学習の推進



担当課 生涯学習課、図書館

主な関係課 子育て支援課、新里支所市民生活課、黒保根支所市民生活課、学校教育課

### 基本方針

住民自らの学びを、よりよい地域づくりへとつなげていけるよう、学校や地域、その他多様な主体との連携により生涯学習を推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「生涯学習の推進」の市民実感度 <sup>*1</sup>	%	30.3 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上
図書館の利用登録者数 【各年度末時点】	人	71,298	71,800	72,300	72,800	73,300

### 現況と課題

- ◆少子高齢化や人口減少などの社会情勢の変化に伴い、地域社会の抱える課題が多様化していることから、さまざまな団体と連携し、地域課題の解決に向けた学習機会の充実を図るとともに、学びの成果をよりよい地域づくりの実践につなげることが求められています。
- ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、生涯学習の機会が縮小を余儀なくされたことから、新たな生涯学習の在り方を研究し、魅力ある学習機会の確保に努めていくことが求められています。
- ◆社会教育と学校教育、家庭教育は密接に関連していることから、積極的な情報発信を図るとともに、学校・地域との連携により、地域全体で子どもの成長を支えていく必要があります。
- ◆公民館や図書館等の社会教育施設について、専門性や特色を生かした多様な世代に対応した学習機会の提供を図るための環境整備が求められています。

※1 「生涯学習の推進」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は生涯にわたって学習できる環境が充実している」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



## 施策の方向

### 1. 生涯学習の充実

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
出前講座 <sup>※2</sup> の利用件数【年間】	件	188	220	230	240	250
放課後子供教室 <sup>※3</sup> の設置数【各年度末時点】	か所	14	17	17	17	17

#### 施策

- 生涯学習機会の充実
- 社会教育の充実
- 学校・地域との連携の推進 **重点施策**

### 2. 社会教育施設の充実

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
市民1人当たりの公民館の利用回数【年間】	回	1.29 (2021年度)	3.41	3.41	3.42	3.42
図書資料の所蔵数(CD・DVD等含む)【各年度末時点】	点	387,576	389,000	390,000	391,000	392,000
図書資料の貸出数(CD・DVD等含む)【年間】	点	314,845	315,000	315,500	316,000	316,500

#### 施策

- 公民館の充実と学習要求への対応
- 図書館の充実 **重点施策**

## 主な関連計画

- ◇第3期桐生市教育大綱（2024～2027年度）
- ◇第2期桐生市子ども・子育て支援事業計画（2020～2024年度）
- ◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2027年度）

※2 出前講座…市民が知りたい、聞きたい、学びたいと思う市役所の仕事などについて、市職員等を講師として市民の学習会や地域の集まりに派遣するもの。

※3 放課後子供教室…放課後等における安全・安心な子どもの居場所を設け、学習やさまざまな体験、地域住民との交流活動等を通して、子どもが地域の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する取り組み。

## 3-5 芸術・文化の振興



**担当課** スポーツ・文化振興課、文化財保護課

**主な関係課** 観光交流課、日本遺産活用室、都市計画課、新里支所市民生活課、黒保根支所市民生活課

### 基本方針

心豊かなまちづくりを目指し、芸術文化活動を促進するとともに、文化財の保護・活用などを行い、市民の芸術・文化の振興を図ります。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「芸術・文化の振興」の市民実感度※1	%	56.4 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

### 現況と課題

- ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、文化財に触れる機会が減少しており、文化財保護の意識の低下が懸念されます。このような現況を踏まえ、先人の残した歴史的資産を後世に伝えていくために、より一層の文化財の有効活用及び積極的な公開を進めていく必要があります。
- ◆魅力ある芸術・文化事業に取り組むほか、コロナ禍※2等社会の変化に対応した芸術・文化事業の在り方について研究し、文化関係団体の事業を効果的・効率的にするための提案を行っていく必要があります。
- ◆芸術文化活動の拠点となる桐生市市民文化会館、桐生明治館、桐生市有隣館等の施設の充実や適正な維持管理、効果的な運営方法の検討が求められています。

※1 「芸術・文化の振興」の市民実感度…市民の声アンケートの「自分は桐生市の芸術や文化、文化財に愛着や誇りを感じる」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※2 コロナ禍…2019年末からの新型コロナウイルス感染症が招いた災難や危機的状況のこと。

## 施策の方向

### 1. 芸術・文化活動の推進

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
市民文化会館の入館者数【年間】	人	197,607	213,415	221,319	229,223	237,127
市民文化会館の稼働率	%	67.2	67.9	68.6	69.3	70.0

#### 施策

1. 文化活動の支援
2. 芸術文化活動拠点施設の充実 **重点施策**

### 2. 文化財の保護・活用

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
文化財の公開施設数 (常時・イベント時の合計)	件	34	36	38	40	42
指定文化財である市有施設の入館者数 <sup>※3</sup> 【年間】	人	44,033	48,800	49,900	51,000	52,100
桐生市重伝建地区公開活用施設の入館者数 <sup>※4</sup> 【年間】	人	1,216	2,500	3,000	3,500	4,000

#### 施策

1. 文化財の保護・活用 **重点施策**

## 主な関連計画

- ◇第3期桐生市教育大綱（2024～2027年度）
- ◇桐生市歴史的風致維持向上計画（2017～2026年度）

※3 指定文化財である市有施設の入館者数…「桐生明治館」、「桐生市有鄰館」、「桐生市近代化遺産絹燃記念館」の入館者数の合計。  
 ※4 桐生市重伝建地区公開活用施設の入館者数…桐生市重伝建地区公開活用施設が開館前であるため、基準値については伝建まちなか交流館の来館者数を掲載。

## 3-6 スポーツの振興



担当課 スポーツ・文化振興課

主な関係課 健康長寿課、新里支所市民生活課、黒保根支所市民生活課

### 基本方針

一人でも多くの市民にスポーツを楽しんでもらうため、いつでも、どこでも、誰でも楽しめるスポーツを推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「スポーツの振興」の市民実感度 <sup>*1</sup>	%	35.7 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上
桐生市体育施設利用者アンケートの設問「スポーツ教室に参加したいと思う」に対し、「参加したい」と回答した市民の割合	%	91.0	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上

### 現況と課題

- ◆各種スポーツの推進については、桐生市体育協会加盟の競技団体が市民大会をはじめ、スポーツ教室等を開催し競技種目の振興を図っています。
- ◆競技力向上対策では、桐生市体育協会加盟団体と連携を図り、その競技における専門的な技術指導者の確保やスポーツ医・科学の面での支援体制の整備が必要となります。
- ◆生涯スポーツの正しい在り方や生涯にわたってスポーツに親んでもらう施策のほか、コロナ禍<sup>\*2</sup>等にあっては人々のスポーツ活動を可能な限り維持する施策を積極的に講じる必要があります。
- ◆スポーツ施設においては、老朽化が進んでいる施設があることから、整備・改修を検討する必要があります。

※1 「スポーツの振興」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市には気軽に運動をする場所や機会、体を動かしたりする環境が整っている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※2 コロナ禍…2019年未からの新型コロナウイルス感染症が招いた災難や危機的状況のこと。

## 施策の方向

### 1. スポーツ活動の推進

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
市民1人当たりの体育施設 利用回数【年間】	回	2.96	2.97	2.98	2.99	3.00

#### 施策

1. スポーツイベントの開催・支援 **重点施策**
2. 競技スポーツの推進
3. 生涯スポーツの推進
4. 団体・指導者の育成

### 2. スポーツ施設の充実

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
桐生市体育施設利用者アンケートの設問 「全体的に施設には満足している」に対し、 “満足”と回答した市民の割合	%	70.0	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上	調査の 都度向上

#### 施策

1. スポーツ施設の充実 **重点施策**

## 主な関連計画

- ◇第3期桐生市教育大綱（2024～2027年度）
- ◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2027年度）



桐生ガススポーツセンター（桐生市民体育館）